

専門科目 保健政策・医療管理学分野

(博士後期課程)

| | | | | |
|-----|---------|--------------------------|----|------|
| 科目名 | 地域保健学特論 | code number : HPM 341 | 選択 | 1 単位 |
|-----|---------|--------------------------|----|------|

| | | | | | | | |
|-------|----------|------|--------|-------|----------|------|-------|
| 科目責任者 | 高橋 謙造 教授 | | | | | | |
| 配当年次 | 1年次 | 配当学期 | 前期(後半) | 曜日・時限 | 火曜 1,2時限 | 授業方法 | 講義・演習 |

1. 授業の概要

地域における保健医療に関する課題の発見と問題解決を、地域のステークホルダーと協働で行える能力を養成することを基本目標とする。その際、1)医療の利用や健康づくりに関する住民の視点、2)保健医療活動を行う提供者の視点、3)地域社会における両者の協働の視点から多角的に捉える力を養う。そのため、本授業では、演習または講師および受講生同士でディスカッションを通して、理論と手法を学ぶ。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1.知識習得型の座学ではなく、地域保健に関わっていく上で、解決策、実践案を案出し得る能力・ツールを修得する。

【行動目標(SBO)】

- 1.地域における健康と保健・医療に関する課題の発見、コミュニティづくり、ステークホルダーと協働した問題解決を行うことができる。
- 2.コミュニティ・コーディネートの手法について説明できる。
- 3.プロジェクト・サイクル・マネージメントを活用した問題分析、活動案案出を行うことができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)授業への積極的な参加(40%)
- (2)レポート提出評価(60%):期限は一週間以内
出席点による加点は行わない。無断欠席、レポート提出遅れについては減点の対象となる。

4. 教科書・テキスト

1. 開発援助のためのプロジェクト・サイクル・マネジメント:参加型計画編
http://www.fasid.or.jp/publication/6_index_detail.shtml

5. 参考書

1. Where There is No Doctor: Village Health Care Handbook David Warner
2. 医療人類学入門:波平恵美子 著 朝日選書
3. 援助とエンパワーメント:佐藤寛 編 アジア経済研究所

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・履修学生に事前に配布する。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

地域保健学特論

| 回数 | 日付 | 時限 | 担当者 | 授業内容 |
|----|---------|----|-------------------------|---|
| 1 | 6/15(火) | 1 | 坪倉 正治 講師(非) 高橋 謙造 教授 | 震災対応と地域への関わり |
| 2 | 6/15(火) | 2 | 坪倉 正治 講師(非) 高橋 謙造 教授 | パンデミック対策に活かす震災対応経験 |
| 3 | 6/22(火) | 1 | 渡辺鋼一郎 講師(非) 高橋 謙造 教授 | ポジティブデビエンスを用いた地域課題解決(講義) |
| 4 | 6/22(火) | 2 | 渡辺鋼一郎 講師(非) 高橋 謙造 教授 | ポジティブデビエンスを用いた地域課題解決(実習) |
| 5 | 7/13(火) | 1 | 山本 真 講師(非) 高橋 謙造 教授 | これからのコミュニティと地域保健:コミュニティ・コーディネートについて |
| 6 | 7/13(火) | 2 | 山本 真 講師(非) 高橋 謙造 教授 | コミュニティ・コーディネートについての実践ワークショップ |
| 7 | 8/3(火) | 1 | 高橋 謙造 教授 | ロジカルフレームワークを用いた活動計画の立案(講義) -問題分析&目的分析- |
| 8 | 8/3(火) | 2 | 高橋 謙造 教授 | ロジカルフレームワークを用いた活動計画の立案(実習1-問題分析&目的分析-) |